

日本再生の基軸

平成の晩鐘と令和の本質的課題

寺島 実郎氏 講演会

(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長

事前申込
入場無料

先着順
(定員300人)



寺島 実郎 (てらしま じつろう) プロフィール

1947(昭和22)年、北海道生まれ。

1973年、早稲田大学大学院政治学専攻修士課程修了。同年三井物産入社。ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員を務めた。

『新経済主義宣言』(石橋湛山賞受賞)『ワシントン戦略読本』

『脳力のレッスン 正気の時代のために』『ユニオンジャックの矢』

『ジェロントロジー宣言』など著書、共著多数。

日本は、平成の30年間で、どのように生きたのか？

1988年に16%だった日本のGDPシェアは、2018年には6%まで落ち込んだ。

農村から人口を切り離して大都市に集中させた「工業生産力モデル」は、80年代末を頂点に成功を収めたが、地域は疲弊し、食糧自給率は激減。株価は89年にピークアウトし、デジタル経済への構造転換に対応できないまま、勃興するアジアへの焦燥感が歪んだナショナリズムを呼び寄せている。

戦後日本を再考し、転換期の世界を生き抜く「全体知」を探る。

寺島実郎著 一日本再生の基軸(岩波書店)より

寺島実郎先生には、私のアメリカ留学時代、ワシントンでの勉強会に毎月参加させていただいてから今日まで、ご指導をいただいています。寺島先生は当時からリベラル保守の論客として活躍されておられ、そのバランスのとれた論稿やご発言は、混迷する日本の将来を導く一筋の希望の光です。

今回、ご無理をお願いして和歌山に来ていただくことになりました。寺島先生と共にポストコロナの時代を読み解く絶好の機会にしたいと思います。

衆議院議員 岸本 周平

2020年9月21日 月・祝

開演 16:00~17:30 (開場15:30)

場所 ダイワロイネットホテル和歌山
4階「ボールルームگران」

主催/国民民主党和歌山県総支部連合会

※新型コロナウイルスの影響により、イベントが変更・中止になる場合がございます。詳しくは裏面をご覧ください。



衆議院議員

きし もと しゅう へい

岸本 周平

■問い合わせ・申し込み先

岸本周平後援会事務所

TEL 073-402-1234

FAX 073-402-1239

(月~金曜日 9:00~17:00)